

学校林等活動で全国表彰

6月5日、茨城県で開催された第56回全国植樹祭で、田代中学校が学校林等活動の部（中学校）で国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。

これは、総合的な学習の時間を利用し、地域の産業である森林・林業の体験学習やシイタケ栽培コマ打ち、また、PTA活動として、学校林地下払いを行った成果が評価されたものであり、全国で4校が入選しています。

田代中学校では、スギやクロマツの学校林の伐採による収益金329万円（平成14年度分）で教育備品を購入したり、栽培したシイタケを文化祭のバザーで販売するなど、学校林等活動を通して教育環境の充実も図られています。



町議会議員に栗脇勉氏

田代地区より選出された小園一利議員の辞職にともない、栗脇勉氏が町議会議員に繰り上げ当選しました。

これは、小園氏が助役に選任され議員に欠員が生じたためであります。選挙後、3ヶ月以内であれば次点の候補者が繰り上げ当選となるため、栗脇氏が議員に選出されたものです。

また、大根占地区も議員が欠員となりましたが、無投票のため新しく議員は選出されませんでした。

小さくとも輝く町へ

6月4日、町文化センターで錦江町ボーリング同好会主催の地方自治の講演会が行われました。会場には、錦江町職員をはじめ議員、町民、他市町より約100人が参加しました。

ボーリング同好会は、役場職員の有志7名で結成され、個性豊かで活力ある町づくりのため、法務能力の向上や業務の課題などについて学習会を開いています。

講演では、九州大学大学院の木佐茂男教授が「小さくとも輝く地方自治～その実現に向けた想いと覚悟～」と題して、ドイツやスイスなどの小規模自治体を例に、これからの町づくりや自治体のあり方について話しをされました。

